

# 認知症

## ほっとけんまち敦賀



敦賀市は、認知症の方を放っておかず、理解し支え合うことで、安心して暮らしていけるまちをめざしています。

### 認知症とは？

誰でも起こる可能性のある脳の病気です。脳や身体 of いろいろな病気が原因で脳細胞の働きが悪くなることにより、さまざまな障害が起こります。例えばもの忘れがひどくなったり、判断力が低下したりなど、生活に支障が出てきます。この認知症の症状のひとつに「徘徊」があります。

### 徘徊とは？

徘徊は、方向感覚や場所の感覚、時間の感覚の障害などから起こり、周囲から見ると目的もなく歩き回っているように感じられます。しかし、本人にとっては、何か目的や理由があつて行動している場合もあります。徘徊は、脱水症状や飢え、事故など、命に関わってくることもあり、出来るだけ早く見つけることが大切です。

平成23年10月12日に設立

敦賀市認知症高齢者及び障がい者徘徊等ネットワーク協議会

この協議会は、徘徊等で行方不明となった認知症障がい者の方を関係機関で協力して早期発見に努めようとするものです。

行方不明は命に関わることもあり、早期発見が重要です。関係機関と地域の方々の理解、連携が必要となります。

現在、担当者会議を定期的に開催し、関係機関の具体的な連絡体制や当事者の方の事前登録方法を検討しています。



### 困っていませんか？



家にいるのに「家に帰る」と言って外出してしまう



定年退職した後も「会社に行く」と言って外出してしまう



外出しても、自分の家がどこなのか分からず、道に迷って帰れなくなる

### 気になる人はいませんか？



季節はずれの服を着ている



裸足や靴下、ちくはくな履物を履いている



ウロウロと不安そうで落ち着かない様子

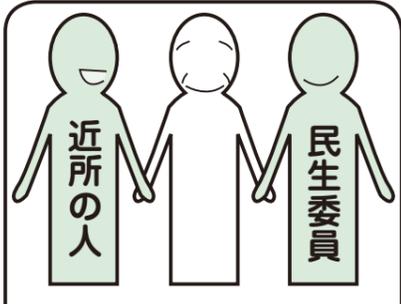
### どう対応すればいいの？



外出しようとする場合は、声をかけ、本人の関心を他にに向けて（お茶やお菓子、好みのもの等）、外出したい思いをやわらげましょう。



衣類や持ち物に名前や連絡先が分かるものを縫い付けたり、記入したりしましょう。



近所の人や民生委員さんにあらかじめ声をかけて、地域での見守りや地域包括支援センターなどに協力を依頼しましょう。

### 徘徊している人を見かけたら？

- まずやさしく声をかけましょう
- ゆっくり話をし、本人の話は否定せずに聞きましょう
- 自宅などの連絡先がわかるものがある場合は自宅へ、わからない場合は警察へ連絡しましょう



### 認知症サポート教室

平成23年12月21日、授業参観で松原小学校5年生を対象に「認知症サポーター養成講座」を開催しました。

児童と保護者が一緒に、病気である『認知症』について理解を深めました。



### ～養成講座を終えた、みんなの気持ち～

- 「認知症の人に合わせて、おこらずやさしくしたい」
- 「失敗しても、「大丈夫だよ」と言ってあげる」
- 「優しく声をかけてあげたい」
- 「元気をなくしていたら、「大丈夫」とわかってあげ、元気にしてあげたい」
- 「教えてあげて、困っているときには助けて、笑顔にしてあげたい」

認知症サポーター養成講座は、学校、会社、町内会、サークルなど、どのような集まりでも受講ができます。

問合せ 地域包括支援センター「長寿」(介護保険課内) ☎22-8181